

カーペット（フェルトグリップ）施工要領書

シンコール株式会社

1. 下地の点検

- ①床面にはグリース、ペンキ、ワックス、油、埃、古い接着剤の異物がないようにして下さい。ひび割れ、穴、窪みなどはラテックス系接着剤で埋めておいて下さい。床面全体を掃除機又は箒で完全に掃除して下さい。
- ②大きな不陸（下地仕上げ時の表面凹凸や、破れやかけによって生じたへこみ等）や凹凸があれば、下地補修をして平滑にして下さい。
- ③床暖房下地の場合は、割付に際してはカーペットのジョイントと床パネルのジョイントとがかさならない様にして下さい。

2. 材料の点検

材料は施工前に、次の項目を点検して下さい。

- ①納品間違いの有無（品番の確認）
- ②ロット No.
- ③色、柄のむら、左右の色違い
- ④織り傷、汚れ
- ⑤検収の終了した材料は事前に打ち合わせし定められた保管場所に搬入する。搬入時、壁や床、階段等に傷を付けない様十分注意する。
- ⑥保管場所は直射日光の当たらない湿度のない平坦な床とし、高く積み上げることなく均一に保管する。

3. 施工手順

- ①グリッパー打ち
 - ・グリッパーにはピン（針）の出ている長さが違ったタイプがあり、カーペットの厚さによって使分けて下さい。
 - ・グリッパーの取り付け位置は壁からカーペットのやや少な目に隙間を空けて下さい。（カーペットの総厚の2/3程度が適当）この際、床配管のマーキングに充分注意して下さい。

- ・グリッパー打ちの際は壁仕上等に傷を付けない様充分注意して下さい。

②アンダーレイ敷き

- ・アンダーレイはグリッパーの内側に隙間なく敷き詰めて下さい。
- ・アンダーレイの固定は床下地に合わせラテックス・両面テープ・タッカーを用いて要所を固定して下さい。
- ・ジョイント面にテープを貼っておけばフェルトのズレが防げます。

①敷き込み

- ・荒切り・仮敷き

①カーペットの折り込みしろをみて、余分に荒切りし所定の位置に仮敷きする。

②ジョイントのある場合は、折り込みしろの他、ジョイントしろ分もみて余分に荒切りする。尚、ジョイントするカーペットはパイル方向が同じになる様に仮敷きする。

- ・ジョイント部修正切り

ジョイント部は、織り目に沿って真っ直ぐ入念にカットし、突き付け面を作成。尚織物カーペットの場合は裁断後、直ちにラテックスを用いて、ホツレ止め加工をして下さい。

- ・シーミング

カーペットのジョイントは、シーミングテープ（巾10cm）を用い、カーペットの接合部分を左右均等にし、アイロンで完全に糊を溶かしながら圧着する。最近、第2基布にPPを使用する場合がありますが、アイロンの温度やスピード等に注意して下さい。

- ・グリッパー工法

カーペットを周囲に固定したグリッパーにニーキッカーを用い均等の力で伸張しながら引っかける。

- ・仕上げ

①カーペットリマーで壁面のカーペットをカットします。

②端末はステアツールを用いて壁とグリッパーの間にカーペットの端を隙間に押し込みます。

③ナップロックを使用している場合は、しわ、たるみ等をチェックした後ナップロックをつぶして下さい。

4. 施工後の注意

- ①傷や汚れ、シワ、たるみ、浮きがなくグリッパーに良く引っかかっているか。
- ②巾木際、壁際のパイル系の飛び出し、隙間はないか。
- ③ジョイントの状態（ロット違い、スキ、接着不良）。
- ④ドア・建具の開閉に支障はないか、グリッパーの釘がカーペットの上から触れないか。